

## 【令和元年度 河川巡視結果】

## 1 巡視日時、消防署管内・河川等

巡視日時	消防署管内・河川等
4月16日(火) 9時00分～11時00分	【青葉消防署管内】 ・梅田川：杉戸橋 ・梅田川：梅田橋 ・梅田川：東照宮前橋
4月16日(火) 13時30分～15時00分	【宮城野消防署管内】 ・七北田川左岸河口：蒲生字町 ・七北田川右岸河口：蒲生字南下河原 ・七北田川左岸：白鳥一丁目地内
4月17日(水) 9時00分～11時30分	【若林消防署管内】 ・貞山運河：大堀排水機場 ・二郷堀：二郷堀排水機場 ・井土浦川：井土浦川排水機場・井土浦樋門 ・貞山運河：藤塚排水機場 ・名取川：左岸河口
4月17日(水) 13時30分～15時00分	【太白消防署管内】 ・谷地堀：郡山字谷地田東地内から旧笹川北目橋の区間
4月18日(木) 13時30分～16時00分	【泉消防署管内】 ・七北田川：馬橋 ・七北田川：小角量水標 ・七北田川：長命橋 ・七北田川：市名坂量水標
4月18日(木) 9時30分～11時20分	【宮城消防署管内】 ・広瀬川：芋沢字新田地内 ・広瀬川、芋沢川：芋沢字大竹新田下地内、向田地内

## 2 参加機関

国	東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
宮城県	宮城県仙台土木事務所
仙台市	危機管理室防災計画課 経済局農林部農林土木課 都市整備局建築宅地部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課

	建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所まちづくり推進部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所まちづくり推進部区民生活課 若林区役所まちづくり推進部区民生活課 太白区役所まちづくり推進部区民生活課 泉区役所まちづくり推進部区民生活課
消防団、消防署	各消防団、各消防署、消防局

### 3 参加人員（延べ人員）

消防署管内 (河川等)	国・県・市	消防団員	消防職員	計
青葉消防署管内	10 名	5 名	17 名	32 名
宮城野消防署管内	13 名	6 名	11 名	30 名
若林消防署管内	16 名	12 名	12 名	40 名
太白消防署管内	13 名	3 名	13 名	29 名
泉消防署管内	14 名	20 名	23 名	57 名
宮城消防署管内	14 名	5 名	13 名	32 名
合計	80 名	51 名	89 名	220 名

### 4 巡視概要

#### (1) 青葉消防署管内

杉戸橋付近は川の流れが緩やかで侵食等は見受けられないが、左岸護岸上の専用住宅の基礎部分がむき出しになっている。増水時には浸水等の危険があるが現在改修工事等の予定はない。

上流側の台原一丁目 2 番地内付近は護岸改修工事が完成しており状態は良好である。また、雨水管からの流入口にはフラップゲートが付けられており、水位上昇時の逆流を防いでいる。

東照宮前橋付近の梅田町 6 番地内付近については護岸改修工事が完了しており良好である。

上流側の梅田町 7 番地内付近は、堰及び水門が破損している状態が続いているが、現在下流の川幅

が広がっているため機能的な必要性は無く、改修及び撤去等の予定はない。

梅田川は近年水位の上昇や越水被害は発生していないが、流れの弱い部分には堆積土砂が見られる箇所があり、下流側からの除去作業を現在計画中である。

また、河川の流れを阻害する可能性のある支障木が点在しておりが、桜の木については付近民から残してほしいとの要望もある。

## **(2) 宮城野消防署管内**

七北田川の堤防等は東日本大震災以降、復旧作業を行ってきたが、今年度末をもって終了予定。高砂橋より上流は震災以前と同様の高さで完成しており、高砂橋より下流は7.2のL1堤防となっている。

白鳥一丁目の仮設排水ポンプは5台（毎分18m<sup>3</sup>の排水能力）設置されており、受電設備を起動することで作動する。

建設局下水道南管理センターで、和田新田堀に設置してある水位計をリアルタイムで遠隔監視しており、水位が一定以上になると、今後の降雨状況を勘案し契約業者に現場待機指示や起動を依頼している。付近には同様の仮設排水ポンプが6箇所設置されているが、その中で一番稼働率が高いのは、この和田新田堀のポンプになっている。前年度は4回指示し、3回の実績があるが、全て短時間で終了している。平成28年度に西原雨水ポンプ場の運用が開始されたことに伴い、白鳥地区付近の浸水リスクが低減したことで、当仮設排水ポンプの重要性は低くなったと思われる。

## **(3) 若林消防署管内**

若林区内の3排水機場は、平成27年8月までに設置工事が完了し、場内整備（外構等工事）も平成28年3月までに完了している。

これらの工事は、樋門を含め震災特例により国営事業として復旧工事が行われ、仙台市が施設管理（ハード）を行い、諸樋門を含めた運用管理を仙台東土地改良区へ委託（井土浦樋門を除く）している。

名取川は右岸、左岸の天端高が7.2メートルあり、L1堤防である。大津波は、これを超えることが予想されるので潜掘による決壊を防ぐために3面張り補強を行っている。

また、名取川右岸（名取市側）には、水防活動等の拠点となる河川防災ステーションの整備が進められている。

巡視を行った排水機場すべてが震災前の能力を上回る能力を有していることを確認できたことから、喫緊に対策等を求めるべき事案は確認されなかった。

## **(4) 太白消防署管内**

谷地堀の改修工事は東日本大震災後中断していたが、平成27年度から再開、旧笹川に架かる北目橋付近に遠隔監視の水位計とカメラが設置され、現在も数年後の完成に向け護岸工事が進められている。工事は笹川合流点から約900m上流まで護岸を拡張し、大雨時には遊水池的な機能も持てるような拡張を図る計画である。

今回の巡視時においては谷地堀に護岸の崩れや洗掘等の異常は認められない。

## (5) 泉消防署管内

馬橋下流で施工中であった平成 27 年 9 月豪雨による復旧工事は、昨年 5 月に完了している。

馬橋上流右岸に危機管理型水位計を設置し、4 月 1 日から運用を開始している。常時は 1 日に 1 回の観測のみで、洪水時に一定の水位上昇があった場合に 10 分間隔で観測されるものである。

小角量水標は平成 27 年 9 月豪雨で被災し、今の形に復旧している。鼻毛橋からも水位を確認できるよう、鼻毛橋上流左岸の護岸に水位表示をしている。

長命橋周辺は平成 24 年の豪雨により被災したが、橋脚を上げ今の形に復旧している。その後の平成 27 年 9 月豪雨で再度被災し、護岸の復旧工事が平成 30 年に完了している

七北田橋下流から仙台川との合流部までの右岸側を現在河道整備中であり、もともとの河道の線形を見直し、拡幅する工事を実施している。現在進めている工事は 6 月頃には一旦完成する予定であるが、今後も引き続き河道掘削を継続する予定である。

## (6) 宮城消防署管内

青葉区芋沢字新田地内（洛風苑・西仙台病院付近）の広瀬川右岸は 20m 超の高低差がある急傾斜（崖地）となっており、河川増水による洗掘で、がけ崩れ等の発生は懸念されるが、越水の可能性は少ない。

西仙台病院南側の対岸（右岸）に平成 27 年 9 月豪雨による河岸崩落箇所が存在し、一昨年、県土木事務所所管で復旧工事を開始したが、昨年 3 月の大雨で水位が上がり、工事を一時中止していたものの、平成 31 年 3 月に工事は完了している。

左岸（西仙台病院側）については、平成 6 年頃護岸工事により整備されており、当該護岸に目立った破損箇所は認められないが、下流の大堀地区に一部崩れている部分があり、昨年度補修工事を開始し本年 5 月に完了予定である。

広瀬川の支流となっている聖川に架かる大堀橋周囲は、護岸工事がされていることを確認した。

青葉区芋沢字大竹新田下地内の広瀬川左岸には、明確に整備された堤防は設けておらず、過去に当該箇所から数回越水し、近年では、平成 27 年 9 月豪雨でいずみ興産敷地まで越水している。豪雨による水位上昇時は、越水に留意する必要がある。

青葉区芋沢字向田地内（明仙橋付近）は過去の大雨時に、明仙橋の橋梁（路面）付近まで水かさが増し通行不能になった経緯がある。明仙橋付近の護岸に亀裂、破損状況等は認められないが、橋の下流右岸の三徳化学工場に面する護岸高が低い状況であり、豪雨による水位上昇時には、越水に十分留意が必要である。護岸工事は過去に終了しており、一昨年、堆積土砂の除去工事を実施している。

## 5 巡視総括

各消防署管内における河川巡視により、現在の河川等の状況と併せ、河川の水位上昇等の場合に留意すべき箇所・区域等を確認した。

大雨、豪雨等の水害に係る災害対応のため、巡視による河川等の実態把握に努めるとともに、今後とも各機関と緊密な連携を図っていく。